

JENESYS2019 ASEAN 派遣プログラム第3陣の記録

テーマ：日本文化交流，派遣国：ミャンマー

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 の一環として、日本の大学生計 15 名が 2019 年 11 月 26 日～12 月 4 日の 8 泊 9 日の日程でミャンマーを訪問し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

本訪緬団はミャンマー訪問中、日本の在外公館や国際協力機関、日系企業、地元企業等を訪問・視察し、日本とミャンマーとの関係性および日本の国際貢献に関する知見を深めました。更に、同世代の学生との大学交流、伝統文化体験等を通じて、ミャンマーの文化・社会に対する理解を深めました。

一行はプログラム中、ミャンマーにおける対日理解の促進、日本・ミャンマー間の信頼関係増進の基盤強化を目的として、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪緬経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】 県立広島大学 5 名， 島根大学 5 名， 北陸大学 5 名

2. 日程

11 月 26 日（火）ミャンマー着

11 月 27 日（水）【オリエンテーション】

【表敬】在ミャンマー日本国大使館

【視察】Training School for Girl

11 月 28 日（木）【日系企業視察】J-SAT

【講義】JICA ミャンマー事務所（日本のミャンマーへの貢献）

【ODA 視察】ヤンゴン都市圏浄水整備事業，バゴ橋建設事業

11 月 29 日（金）【学校交流】Metro IT Japanese Language Center

【学校交流】タンリン工科大学

【視察】ティラワ工業団地

11 月 30 日（土）【視察・文化体験】Kyaikthale Village

12 月 1 日（日）【視察】Japan House 和-wa-

シュエダゴンパゴダ（清掃ボランティア含む）

【伝統文化体験】ミャンマー舞踊

12月2日(月)【地元企業視察】MSR
【ワークショップ】

12月3日(火)【報告会】
【日系企業視察】F&P Group
ミャンマー発

12月4日(水)帰国

3. プログラム記録写真

 <p>2019/11/27</p>	 <p>2019/11/27</p>
<p>11月27日【オリエンテーション】</p>	<p>11月27日【表敬】 在ミャンマー日本国大使館</p>
 <p>2019/11/27</p>	 <p>2019/11/28</p>
<p>11月27日【視察】 Training School for Girl</p>	<p>11月28日【日系企業視察】 J-SAT</p>



11月28日【講義】
JICA（日本のミャンマーへの貢献）



11月28日【ODA視察】
ヤンゴン都市圏浄水整備事業



11月28日【ODA視察】
バゴー橋建設事業



11月29日【学校交流】
Metro IT Japanese Language Center



11月29日【学校交流】
タンリン工科大学



11月29日【視察】
ティラワ工業団地



11月30日【視察・文化体験】
Kyaikthale Village



12月1日【視察】
Japan House 和-wa-



12月1日【視察】
シュエダゴンパゴダでの
清掃ボランティア



12月1日【伝統文化体験】
ミャンマー舞踊



12月2日【地元企業視察】
MSR



12月2日【体験】
ローカル鉄道乗車

	
<p>12月2日【ワークショップ】</p>	<p>12月3日【成果報告会】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生（島根大学）

インターネットが普及する時代で、大抵のことは調べたら出てくると言われていますが、現地へ行って生きた情報を知っているかいないかでは非常に大きな差があると感じました。ミャンマー渡航前に事前学習としてインターネットや本で情報収集しましたが、現地へ行ってみるとその情報は表面的に見れば間違っていなかったものの、根幹の部分では少し違っていることに気が付きました。今回のプログラムを通して、経験に基づく知識をいかに得ていくかが、異文化理解だけでなく、自分の視野を広げるためにも必要だと学びました。

◆ 大学生（島根大学）

実際にミャンマーで働く日本人の方と話す機会があったことが良かった。日本人の感覚を持った方から学ぶミャンマーと、ミャンマー人から学ぶミャンマーは必ずしも同じではなかった。異文化や自国理解のためには様々な視点から物事を見る必要があり、そういった意味では、まだ滞在期間の短い私では分からないことが、現地に住む日本人の視点を通すと理解し易かった。

◆ 大学生（県立広島大学）

今回のプログラムにおいて感じたことは、ミャンマーは現在は発展途上国であるけれど、これから凄い勢いで成長し、発展していくことのできる1番可能性を秘めた国だということです。インフラや教育の制度等まだまだ改善する点は多くある国ですが、だからこそゼロから基盤をスタートすることのできる国だと考えています。（企業、教育改革等において）終了後はミャンマーと日本の歴史的関係性、現在のインフラ支援や教育改革援助の状況、ミャンマーの文化や伝統、民族や宗教、お祭りにおける日本との類似点や相違点、そしてなぜミャンマーが世界から注目されているのかという事をこのプログラム終了後に伝えていきたいと考えています。

◆ 大学生（県立広島大学）

ミャンマーを訪れ、実際に現地で体験しないとわからないことや肌で感じて初めてわかることが沢山あり、初めてのミャンマー滞在は全てが新鮮でとても貴重な時間となりました。ミャンマーの人々は皆親切に接してくれ、人柄の良さと純粋さを実感しました。ヤンゴン市内にはイルミネーションやクリスマスツリー、植民地時代のイギリス風建築、先進国の作った高層ビルなど、仏教的寺院等のミャンマー文化だけではなく様々な文化が共存しており、日本と似ていると感じました。ミャンマーは思っていた以上に発展や開発が進んでおり、行く前のイメージとは大きく印象が変わりました。日本にはミャンマーについて知らない人や危険そうな国だというイメージを持っている人が沢山いるので、周囲にミャンマーで体験したことやミャンマーについての正しい情報、ミャンマーの魅力を伝えていきたいと感じました。また、ミャンマーに来てインフラや教育など様々な面で整備されている日本の魅力というものを再確認しました。そのようなことも踏まえて今回の体験を積極的に発信し、ミャンマーと日本を行き来する人が増え、両国の友好関係の発展に貢献できたらと思いました。

◆ 大学生（北陸大学）

今回、外務省の対日理解促進交流プログラムに参加して本当に良かったと感じました。なぜかという、現在大学卒業する直前に一旦足を止めて自分の世界観を広げることができたからです。中でも、企業訪問や伝統文化の経験は、ある1つの国の人間としてだけではなく、地球人として自分がどのように世界に貢献できるか、ということを考えるきっかけになりました。日々、日本で生活する中で、自分がどのようにして世界に良い影響を与えられるかということあまり考えないが、今回ミャンマーを訪れ、個人的に人生において大きなミッションができたと感じました。

◆ 大学生（北陸大学）

ミャンマーという国はなかなか旅行先としては選ばない人も多く、どんな国なのかもよく分からないというのが現状だと思います。実際に行って、自分の目で見たり、現地の人と話したりしてミャンマーという国について知ることができたのは本当に良かったと感じています。私達がそうした経験を話すことでたくさんの人にミャンマーへ興味を持ってもらえるように積極的に今回のプログラムを話していきたいです。

5. 受入れ側の感想

◆ 視察先関係者（タンリン工科大学）

日本とミャンマー双方の学生が人、文化等について学べる素晴らしい機会だと思います。現地の方と触れ合うことは日本の学生にとっては、新しく学ぶことがあったかと思います。日本人の学生は現地の学生と積極的に話してくれ、ミャンマーの学生は喜んでおりました。また、本校の学生に多くの質問をしてくださり、いい交流会になったと思います。

◆ 視察先関係者（MSR）

このプログラムは、学生にとっては、ミャンマーのような新興国を安全に団体行動で視察

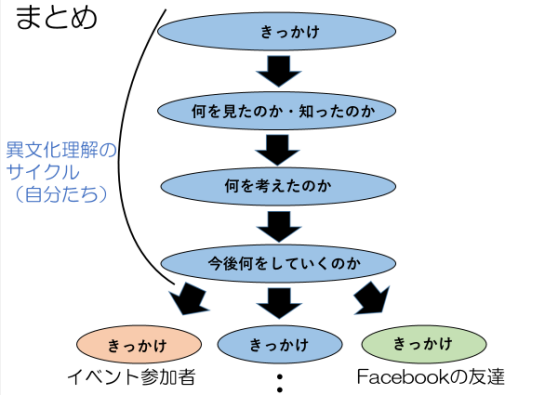
できるため、素晴らしい機会だと感じました。学生たちも非常に熱心に聞いておりました。質問も日本語だけでなく英語でも積極的にしていたので感心いたしました。

6. 参加者の対外発信

<p>ミャンマー訪問4日目 今日は学校交流としてMetro IT Japanese Language Centerとタンリン工科大学にお邪魔した後、ティラワ経済特区という日本政府と日系企業によるODAサイトを訪問しました。</p> <p>Metro IT Japanese Centerは20歳前後の学生が通う2年制の日本語学校で、お互いに日本語でプレゼンテーションを行い交流しました。JENESYS側からは北陸大学が大学と金沢について、Metro側からは民族、祭り、食について素晴らしい発表をしてもらいました。また、ミャンマー人の学生さんたちはとてもシャイで性格的に日本人との共通点が多いように感じました。... もっと見る</p>  <p>シェア1件</p>	<p>JENESYS 2019 Myanmar -DAY 3- J-SAT, JICA & Filtration plant & Bago bridge</p> <p>It's hard to notice that I'm in comfortable place in daily life. Because Japan is a developed country and I can buy a food anytime. I can walk and drive on the paved road. I can drink a safe tap water. I can turn on the lights anytime. I had these environments when I was born. I have become to think this is natural... もっと見る 翻訳を見る</p>  <p>シェア1件</p>
<p>【Facebook】 島根大学 Metro IT Japanese Language Center, タンリン工科大学, ティラワ工業団地について発信</p>	<p>【Facebook】 島根大学 J-SAT, JICA, ヤンゴン都市圏浄水整備事業, バゴ橋建設事業について発信</p>
<p>Today, we went to Yangon Central Railway Station and got local train! A train used in JR was being used in Myanmar. The platform was very high and the doors and windows were left open. It goes very slowly. It was quite different from Japanese trains.</p> <p>今日はヤンゴン・セントラル駅に行って、ローカル列車に乗りました！日本のJRで使われていた車両がそのまま使われていました。ミャンマーの電車は乗り場がとても高くドアや窓が開けっぱなしで、とてもゆっくり走ります。日本の電車とは全然違うなと感じました 🇲🇲 #JAI1126</p>  <p>シェア1件</p>	<p>Today, We went to Kyaikthale Village and Mingalar monastic 🙏❤️🇲🇲🇲🇲🇲🇲 We enjoyed together as long as time permits. They are so lovely and kind kids. I was tricked by them, they makes a lot of people happy!!! Please stay energetic in the future too 🙏... もっと見る</p>  <p>シェア1件</p>
<p>【Facebook】 県立広島大学 ローカル鉄道乗車体験について発信</p>	<p>【Facebook】 県立広島大学 ホームビジットについて発信</p>

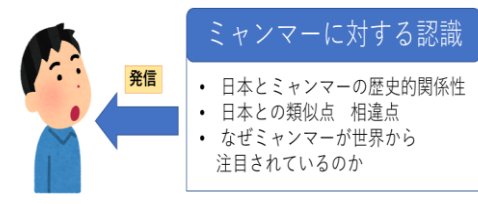

<p>ミンガラバーパ(ミャンマー-白田) 今日はミャンマーと日本の交流の中心地ミャンマーにある日本大使館を訪れ、その後ミャンマーの福祉学校を訪れ、ミャンマー市内を探索しました。ミャンマーは日本と繋がりが深く、また日本語を学ぶ現地の方々が増えてきていて、街では日本語で書かれた看板をよく見かけました！ミャンマー料理を食べるの初めてでしたが、とても美味しくいただきました！</p> <p>Mingalarbar Day 2 in Myanmar Today I visited the Japanese Embassy in Yangon, and then a welfare school called the training school for girls. I learned more people in Myanmar study Japanese than before, as I saw some signs written in Japanese. I also went around the city, looking great! The Myanmar food I ate today for the first time in my life was all delicious! I hope to enjoy and learn a lot about Myanmar the rest of the days in Myanmar. #jai1126</p> 	<p>DAY 6 It was an amazing time in Shwedagon Pagoda!! Shwedagon Pagoda is the most famous landmark of Yangon. Yangonで最も有名なランドマークのシュエダゴン・パゴダは最高でした！ I was moved by the atmosphere. Every buildings were really beautiful and gorgeous so I took many photos📷 全ての建物が美しく豪華で、私はその雰囲気感動し、写真を撮りまくりました。 Luckily I could do a volunteer work and cleaned the ground of the pagoda with my friends. 幸運なことにも清掃のボランティアをすることができました！👍👍👍 #jai1126</p> 
<p>【Facebook】北陸大学 在ミャンマー日本国大使館表敬、 Training School for Girl について発信</p>	<p>【Facebook】北陸大学 シュエダゴンパゴダでの清掃ボランティアについて発信</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>【これからの方針】</p> <p>ミャンマーに来るきっかけがあったことで様々なことを学ぶことができた。</p> <p>➡ ミャンマーに来る機会のない人に対して日本では知りえない情報を発信していき、そこから異文化理解のきっかけにしてもらう。</p>	<p>まとめ</p>  <p>異文化理解のサイクル (自分たち)</p> <p>きっかけ イベント参加者</p> <p>：</p> <p>Facebookの友達</p>
---	---

アクション・プランの発表（島根大学）

- ① 島根大学参加者で共同の Facebook アカウントを作成し、ミャンマーや日本文化の紹介に加えミャンマーを訪れて気付いたこと等の発信を週1回交代で15週間続ける。
- ② JENESYS を通しての経験や感じたことの報告をしつつ、食文化や衣装・言葉など文化の紹介も行うイベント兼報告会を開催する。

<p>日本に帰って伝えたいこと</p> 	 <ul style="list-style-type: none"> • 学校での体験談発表、ポスター作製 • SNSでの発信 (Instagramを中心に) • 学祭でのミャンマー文化発信 <p>➡見た人がミャンマーに興味関心を向けるような内容を発信し続ける。</p>
---	---

アクション・プランの発表（県立広島大学）

- ① 学校での体験談発表，ポスター作製。
- ② Instagram を中心とした SNS での発信。
- ③ 学園祭でのミャンマー文化発信。

⇒見た人がミャンマーに興味関心を向けるような内容を発信し続ける。

<p>企業J-SAT 日緬関係 </p> <hr/> <p>ミャンマー人材育成→日本の企業に紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓今後、日本人が戦っていく外国人 ✓日本がいかに恵まれているか ✓日本のルールを理解してもらうためには 	<p>アクションプラン</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●SNSで動画配信 5つのテーマで2週間に1回ずつ Instagram, Twitter, Facebook, YouTube等 ●大学にミャンマーブースを設置 カフェや学生課にミャンマーの写真とお菓子を置く
--	--

アクション・プランの発表（北陸大学）

- ① Instagram, Twitter, Facebook, YouTube 等の SNS で 2 週間に 1 回ずつ動画配信。
- ② 大学のカフェや学生課にミャンマーブースを設置し，ミャンマーの写真とお菓子を置き，情報発信を行う。

事業実施団体：株式会社 JTB